

地方創生関連交付金事業の実施結果

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

指標値 ≤ 実績値 ……「達成」
指標値 > 実績値 ……「未達成」

○地方創生推進交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度(年)	目標値	単位	目標値	実績値	達成・未達成	
1	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	27,588,333	プロ人材戦略拠点によるプロ人材のコーディネート(民間人材会社への人材情報の提供)件数(累計)	R3年度	1,700	件	320	360	達成	引き続き金融機関、民間団体、民間ビジネス事業者と連携し、県内企業の求人ニーズの掘り起こしと首都圏等の求職者等とのマッチングに取り組むとともに、出口戦略について検討を進めます。
				R3年度	200	件	35	104	達成	
				R1年度	40	件	38	47	達成	
2	”世界が恋する、NAGANOWINE”ブランドアッププロジェクト	13,656,471	県内のワイナリー数 県内のワイン用ぶどう栽培面積 国際ワインコンクールでの受賞数 観光消費額	R1年度	240	ha	226	301	達成	NAGANO WINEのブランド化を図るため、栽培・醸造・プロモーション・観光等の各段階での支援を事業を通じて強化し、農業者、ワイナリー、関連産事業者との連携により、NAGANO WINEの取組方針である「信州ワインバレー構想」の推進に取り組みます。
				R1年度	10	本	4	6	達成	
				R1年度	7,618	億円	7,396	8,146	達成	
3	世界水準の山岳高原観光地域づくり	62,378,328	観光消費額 延宿泊者数 外国人延泊者数	R1年度	7,618	億円	7,396	8,146	達成	延泊者数及び外国人宿泊者数について、記録的な猛暑や豪雨、雪不足等の影響により目標に達しませんでした。山岳リゾートとしての長野県の優位性を活かした「稼ぐ」観光地域づくりをより一層推進するため、広域型DMOの形成支援、国内外の旅行者のニーズに合わせた戦略的な情報発信や旅行商品造成、インバウンドの推進に取り組みます。
				R1年度	2,075	万人	2,015	1,832	未達成	
				R1年度	200	万人	173.2	152.7	未達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度(年)	目標値	単位	目標値	実績値	達成・未達成	
4	人生を楽しむ「信州・働き方改革」推進事業	25,160,981	短時間正社員制度導入企業割合	H30年度	24%	%	24.0	21.4	未達成	短時間正社員制度導入企業割合について、制度導入に対する企業の理解が進まず目標値に達しませんでした。そのため、長野県就業促進・働き方改革戦略会議において平成31年3月に策定した「当面の取組方針」に基づく施策を実施し、短時間正社員制度等の多様な働き方制度の導入を促進します。 また、仕事と生活の両立に関する啓発や育児休業制度の周知を実施し、男性の家庭参画を促進します。 Uターン就職率は大都市圏の企業による新卒学生の積極採用の影響が大きく目標値には達しませんでした。そのため、Uターン就職率の向上については、学生に対する県内企業や県内で働くことの魅力発信が重要であることから、引き続き、魅力の向上や情報発信に取り組みます。
			Uターン就職率	H30年度	43.6%	%	43.6	39.5	未達成	
5	学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成推進事業	18,399,816	事業対象校(横展開4校)の県内就職率の合計	H30年度	350	ポイント	350	348	未達成	全国的な景気動向により大都市圏の大企業の雇用活動が活発になり、県内のみならず県外就職者も増加したため、県内就職率、地元企業理解に係る目標は下回りましたが、事業実施3年間で事業対象校の地元就職者数は確実に増加しており、地元企業への理解も3年連続して向上し、事業の効果はあったと思われまます。 平成30年度で交付金事業としては終了しますが、今後は本事業における取組や成果の他の県立高校への共有に取り組みます。
			事業対象校(縦展開2校)の進学する生徒の中で、長野県にUターンを希望する生徒の割合の増加率	H30年度	10	ポイント	10	19	達成	
6	航空機産業集積化による地域イノベーションの創出	97,893,906	航空機産業に取り組む県内企業	R2年度	100	社	70	75	達成	長野県航空機産業振興ビジョンに基づき、アジアの航空機システム拠点の形成を目指し、引き続き、支援体制の整備を進め、人材育成や研究開発を支援するなど、県内航空機産業の振興に取り組みます。
			大学・企業等誘致	R2年度	5	件	2	5	達成	
			航空機産業分野の売り上げ高	R2年度	4.0	%	1.6	14.6	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度(年)	目標値	単位	目標値	実績値	達成・未達成	
7	中・高校生によるRESASを活用した地方創生のための探究型学習推進事業	9,450,425	県内出身学生のUターン就職率 事業実施校のすべてが「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募する	R2年度	45	%	42.5%	39.5	未達成	「地方創生☆政策アイデアコンテスト」への応募については、事業対象校全体から47件に応募することができました。一方で、コンテストまでの準備期間が確保できず、応募までいたらなかった学校がありました。平成30年度で交付金事業としては終了しますが、引き続き多くの学校からコンテストへの応募ができるよう、「コンテスト指導ガイド」を配布して各校の取組を支援していきます。
8	「発酵・長寿」食品製造業創生事業	15,302,369	新食品商品化 食品製造業の製造品出荷額等 観光消費額 加工食品・農産物の輸出入額	R4年度	100	品目	20.0	20.0	達成	長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、新たな価値を創出するため、引き継ぎ、高付加価値機能的食品開発を促進するとともに、研究開発プロジェクトによる新食品の創出を推進するほか、各種認証の取得支援に加え、機能的エビデンスを蓄積し、「発酵・長寿」ブランドの形成を図ります。
9	地方創生に向けた産業・地域を支える人づくり～「学びの県」をめざして～	8,255,361	観光インタナーシップ受入人数 信州ものづくりマイスター等による講座受講者数 オンライン学習プラットフォームへの学びのコンテンツアップロード数	R2年度	190	人	30	7.0	未達成	観光インタナーシップについて、平成30年度は、インタナーシップ受け入れ企業の新規開拓や各学校への働きかけ等受入環境整備を中心にを行ったため、目標値は達成できませんでした。今後は、受入人数を増やすため、関係団体と連携してインタナーシップを実施します。また、ものづくり産業及び地域を支える人づくりを進めるため、産学官連携による県民のライフステージに応じたキャリア教育や、地域課題の解決を導く中間支援人材の育成、オンライン上の学習プラットフォームの機能検討等を実施します。
10	信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業	13,398,900	県内における医療機器(部材含む)生産金額 医療機器産業への展開を図る県内企業等の数 医療機器製造販売業及び医療機器製造業の県内における許可件数 交付対象事業を通じて支援した県内企業等の数	R2年度	185	億円	180.0	233.2	達成	長野県医療機器産業振興ビジョンに基づき、国内での新たな医療機器の開発・事業化と世界市場への医療機器部材の供給を促進します。
				R2年度	125	社	75	75	達成	
				R2年度	180	件	170	169	未達成	
				R2年度	40	件	0	0	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度(年)	目標値	単位	目標値	実績値	達成・未達成	
11	信州ナビによる周遊・滞在の促進プロジェクト ～信州の魅力を最大限活かした賑わい創出～	8,174,701	県内の延宿泊者数	R2年度	2,115	万人	2,015.0	1,832	未達成	延宿泊者数及び外国人宿泊者数について、記録的な猛暑や豪雨、雪不足等の影響により目標に達しませんでした。一方で、「信州ナビ」の累計ダウンロード数は目標を上回り、目標を達成することができました。 令和元年度については、SNS等を活用したPRによりダウンロード数の更なる増加を図るとともに、ターゲット型プッシュ通知機能を実装し、観光・交通についてより効果的な情報提供を行うことで、目標値の達成に向けて取り組みを進めていきます。
			県内の観光消費額	R2年度	7,959	億円	7,396.0	8,146	達成	
			県内の公共交通機関(路線バス等を広域運行する交通事業者)利用者数	R2年度	2,836	千人	2,822.0	実績値なし	実績値なし	
			県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」の累計ダウンロード回数	R2年度	6.5	万回	3.5	3.8	達成	
12	商店街を核とした官民協働の信州ワーケーション事業	6,787,688	社会増(転入者数-転出者数)	R2年度	▲1,000	人	▲2,155	▲3,076	未達成	ワーケーションの実施者数は目標を上回ったものの、まだまだワーケーションに対する全国的な認知は低く、その他の指標は目標を達成することができませんでした。引き続き、ワークスタイルの変革による地域への訪問・滞在を活性化させ、「つながり人口」を拡大するために、観光地のDMO等と連携しつつ、モデル地域を3市町村から7市町村に拡大し県内のワーケーション拠点整備を進めます。
			移住者数	R2年度	2,900	人	2,356.0	2,315.0	未達成	
			外国人延べ宿泊者数	R2年度	240	万人	173.2	152.7	未達成	
			ワーケーション実施者数	R2年度	360	人	30	33	達成	

KPIの達成状況

区分	件数	構成比
達成	24	63.2
未達成	14	36.8
実績値なし	1	—
合計	39	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です

地方創生関連交付金事業の実施結果

指標値 ≤ 実績値 ……「達成」
指標値 > 実績値 ……「未達成」

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

○地方創生拠点整備交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度	目標値	単位	目標値	実績値	達成・未達成	
1	環境・情報技術部門 生産性革命支援事業	175,007,682	生産現場のAI・IoT化による生産性向上に関する研究数 IoT機器等を活用した生産現場のエネルギー使用や工程改善件数 3Dプリンタを活用した加工工程の改善件数	R4年度	40	件	0	0	達成	県内製造業のAI・IoT技術導入の推進のため、AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターを整備し、平成31年4月に稼働を開始しました。今後は、製造業等の生産性向上につながる技術支援および研究として、AIを用いた生産ラインの検査工程自動化や工場の省エネルギー化等を推進していきます。
2	食品技術部門生産性 革命支援事業	135,766,260	サブプライム等、新しい機能性食品の開発品目 食品製造業の製造品出荷額等 食品の試験・分析・研究に係る機器利用及び依頼試験件数 3,800件(H34)	R4年度	100	品目	0	0	達成	県内食品製造業の新たな食品開発の推進のため、しあわせ信州食品開発センター機能性食品等開発拠点を整備し、平成31年4月に稼働を開始しました。今後は、食品製造業等における新たな商品開発につながる技術支援および研究として、発酵食品の機能性エビデンスの取得や商品の試作等を推進していきます。
3	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (農業試験場、果樹 試験場)	156,538,980	農業の単位面積当たり生産性 観光消費額	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	長野県オリジナル品種(りんご、ぶどう)の開発を推進するため、以下について引き続き取り組めます。 ・りんごでは育種マホに設置された高品位青果物分析装置等を駆使し、商品性が高く貯蔵性に優れる品種や新たな需要創出に寄与できる赤果肉品種等の育成に向けた選抜を進めます。 ・ぶどうでは環境制御施設を駆使し、皮ごと食べられる等消費者ニーズに対応した品種育成に向けた選抜を進めるとともに、温暖化に起因する各種果実・樹体障害への対応技術を開発します。

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度	目標値	単位	目標値	実績値	達成・ 未達成	
4	100年カラマツの利用 技術開発事業	153,990,350	開発した、梁・桁製品利用の 売上金額 (H32に90,000千円/年) 大径カラマツ材等の梁・桁6タ イブの新製品化数 (H32に6種類)	R2年度	90,000	千円	18,000	実績値なし	実績値なし	県内の木質バイオマス発電所の稼働が当初予定より5年遅れ(2015→2020年稼働)した事もあり、想定した素材生産が行われず目標値を達成することができませんでした。 H30年度は新たな試験研究施設を利用し、スギ・カラマツで4種類の新製品開発を実施したところです。今後は、販売等を推進して参ります。
				R2年度	6	種類	2	4	達成	
				R2年度	750	千㎡	650	540	未達成	
5	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (農業試験場八重森 [ほ場])	8,229,600	農業の単位面積当たり生産 性 観光消費額 新しく開発する水稲の新品種 (H32に1品種、2系統)	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	長野県のオリジナル品種の水稲の開発を推進するため、気象・水利自動制御水田試験施設等を活用し、高温・登熟性に優れた系統から良食味系統の選抜を引き続き進めます。
				R2年度	7,847	億円	7,396	8,146	達成	
				R2年度	1	品種	0	0	達成	
6	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (野菜花き試験場)	25,245,000	農業の単位面積当たり生産 性 観光消費額 レタスのオリジナル新品種・ 系統の開発 (H32に2系統)	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	長野県農業の技術向上を図るため、以下の3点に引き続き取り組みます。 ・環境制御技術を駆使し、気象変動の影響を受けにくいトルゴギキョウ等の生育・品質制御技術を開発します。 ・盛夏期に収穫・出荷する作型に適したレタス系統を選抜します。 ・施設園芸における捕食性天敵による微小害虫の防除技術を開発します。
				R2年度	7,847	億円	7,396	8,146	達成	
				R2年度	2	系統	0	0	達成	
7	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (畜産試験場)	82,940,732	農業の単位面積当たり生産 性 観光消費額 新たな地鶏品種 (H32に1品種、1系統)	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	長野県農業の生産向上を図るため、従来より増体に優れ、出荷日齢を短縮できる良食味のオリジナル地鶏の作出に引き続き取り組みます。
				R2年度	7,847	億円	7,396	8,146	達成	
				R2年度	1	系統	0	0	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度	目標値	単位	目標値	実績値	達成・ 未達成	
8	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (南信農業試験場)	7,128,000	農業の単位面積当たり生産 性	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	長野県農業の生産向上を図るため、果実 貯蔵性検定施設等を活用し、耐病性・貯蔵 性に優れ、本県に適する優良日本なし系 統の選抜に引き続き取り組めます。
			観光消費額	R2年度	7,847	億円	7,396	8,146	達成	
			新たに開発する日本なしのオ リジナル品種 (H32に1品種)	R2年度	1	系統	0	0	達成	
9	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (水産試験場本場)	22,405,077	農業の単位面積当たり生産 性	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	長野県農業の生産性の向上を図るため、 今回整備した飼育施設の活用を通じ、耐 病性や高成長性を備え付加価値の高いマ スの新品種の開発に取り組めます。
			観光消費額	R2年度	7,847	億円	7,396	8,146	達成	
			耐病性や高成長性を備えた マス類の開発 (H32に1品種)	R2年度	1	系統	0	0	達成	
10	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (水産試験場押野試 験池)	15,094,897	農業の単位面積当たり生産 性	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	28年度事業を29年度に繰り越し、当該施 設の竣工が当初計画から1年遅れた29年 度となりました。30年度に本格稼働し、計 画の種苗供給4万尾増産に向けて順調に 生産しているが、稼働から稚魚出荷まで1 年かかるため30年度中の供給に至らず目 標は未達成となりました。
			観光消費額	R2年度	7,847	億円	7,396	8,146	達成	
			種苗供給量の増加	R2年度	40	万尾	40	36	未達成	
11	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (水産試験場木曾試 験池)	5,402,795	農業の単位面積当たり生産 性	R2年度	262	万円/ha	260	280	達成	28年度事業を29年度に繰り越し、当該施 設の竣工が当初計画から1年遅れた29年 度となりました。計画より1年遅れた30年度 に本格稼働し、計画の種苗供給3万尾増 産に向けて順調に生産しているが、稼働か ら稚魚出荷まで1年かかるため30年度中 の供給に至らず目標は未達成となりまし た。
			観光消費額	R2年度	7,847	億円	7,396	8,146	達成	
			種苗供給量の増加	R2年度	7	万尾	7	4	未達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標		30年度(年)の状況			今後の取組の方向性、理由等
				年度	目標値	単位	目標値	実績値	
12	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (林業総合センター)	4,827,600	松くい虫抵抗性マツタケ菌発 生苗木の販売 (H32に3,600千円)	R2年度	3,600	千円	0	0	達成
			観光消費額	R2年度	7,618	億円	7,396	8,146	達成
			マツタケ生産量	R2年度	50	トン	46	42.1	未達成

KPIの達成状況

区分	件数	構成比
達成	31	88.6
未達成	4	11.4
実績値なし	1	—
合計	36	100

※構成比は実績値が把握できる指標
に占める割合です

平成30年度は、2年ぶりに全国1位の生産
県になったものの、全国的な天候不順によ
り、マツタケ生産量は減少し目標値を達成
することができませんでした。
マツタケ発生は天候条件やアカマツ林の
老齢状況に左右されるため、今回整備した
マツタケ菌感染苗木の増設施設を活用し、
苗木の増設技術開発を推進し生産振興を
図り、林内での安定的なマツタケ生産に取
組みます。

まち・ひと・しごと創生寄附（企業版ふるさと納税）活用事業の実施結果 （各事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

No	活用事業の名称	事業概要	H30事業費 （うち寄附受領 実績額）	寄附者 実績数	重要業績評価指標 （KPI）	直近の状況			今後の取組の方向性、理由等
						実績値	達成・未達成 （事業評価指数）	目標値	
1	自然公園グレートアップ 構想	多様な利用者が自然公園の美しい風景と自然を快適に楽しめるよう、登山道・遊歩道等の整備を実施	6,172,660円 (6,172,660円)	4者	自然公園利用者数 (延べ) ※最終年度（R元）の目標値： 3,661万人	3,676万人 (H29)	達成 (1.01)	3,637万人 (H29)	安心・安全な環境を整備するとともに自然環境を保全し、多様な利用者が求める自然公園の魅力を確認するため、引き続き登山道整備補助等を行う。 ※H30実績はR元.11月集計
2	長野オリンピックレガシー 活用プロジェクト	長野オリンピック競技会場である白馬ジャンプ競技場の活用に向けて、施設の改修等を実施	82,296,000円 (26,100,000円)	2者	白馬村の観光客 入込数 ※最終年度（R元）の目標値： 230万人	220万人 (H30)	未達成 (0.96)	230万人 (H30)	白馬村の観光客入込数については、雪不足によりスキー客が伸び悩んだため、目標未達成となった。白馬ジャンプ競技場が地域の観光のシンボリック的存在として将来にわたって活用されるよう、引き続き老朽化した施設の整備を順次行うとともに、FISサマーグランプリジャンプ大会を開催する。

目標値 ≤ 実績値（事業評価指数 ≥ 1）……「達成」
 目標値 > 実績値（事業評価指数 < 1）……「未達成」
 事業評価指数……実績値 / 目標値